

2020年9月8日

関係各位

公益社団法人 日本技術士会 東北本部 事務局

第16回環境対応セミナー開催のご案内
持続可能な未来のために

拝啓 時下ますますご清祥の事と、お慶び申し上げます。

さて、表記のセミナーを下記の内容について開催いたしますので、ご案内申し上げます。
よろしくお願い申し上げます。

記

【テーマ設定の背景】

東日本大震災・福島原発事故（2011年）、本年の新型コロナ・ウィルスの世界的大流行（パンデミック）と衝撃的な事件が続いている。日本列島の至るところで、毎年のように、未曾有の豪雨災害がもたらされている。あたりまえに続くと信じ込んで疑わなかった明日が、必ずしも昨日までのとおりではないという日常と非日常との断絶に私たちは直面している。

このまま経済成長を続けていけるのだろうか。経済成長を続けられるのだろうか。持続可能な未来をつくるために、2020年の今、どのような転換が求められているのだろうか。

2020年は、第1回アースデー（1970年4月22日）から50年の年であり、温室効果ガスの大幅削減をめざすパリ協定の実施開始年でもある。エネルギー多消費的な社会を続けるのか、エネルギー効率の高い脱炭素社会への転換をめざすのか、私たちは分岐点にある。脱炭素社会への転換は可能なのか。私たちが直面する課題をともに考えたい。

日時：2020年10月16日（金） 15：00～17：00

会場：仙台市市民活動サポートセンター（6階セミナーホール）

仙台市青葉区一番町四丁目1-3 TEL：022-212-3010

※地下鉄広瀬通駅 西5番出口すぐ

※市営バス「商工会議所」前徒歩3分

※ご来場には公共交通機関をご利用ください。

対象：一般の方および官公庁、学校関係者、企業の方等、どなたでも参加できます。

プログラム：

15:00～15:10 開会の辞

(司会) 宮城県支部 環境委員会 上村 恵也

主催者挨拶

宮城県支部 支部長 遠藤 敏雄

15:10～16:40 講演

演題：持続可能な未来のために

講師：尚絅学院大学大学院特任教授 博士（社会学）

長谷川 公一（Koichi Hasegawa）様

<経歴>

山形県出身

東京大学、同大学院を経て、1984年東北大学教養部講師、1997年東北大学文学部教授、2020年より現職。2003年ミネソタ大学客員教授、元・環境社会学会会長

16:40～16:55 質疑応答

16:55～17:00 閉会の辞

宮城県支部 環境委員会委員長 山本 真之

定員：45名（定員になりしだい締め切ります）

※定員締め切りの為、参加いただけない方にはその旨ご連絡いたします。

※新型コロナ・ウィルス対応（「三密」回避）のため、参加人数を絞らせていただいております。

参加費：無料

注意事項：新型コロナ・ウィルス対応のため、以下のご協力をお願いいたします。

- ご参加者はマスク着用にてお願いします。
- 当日、会場入り口にて検温をさせていただきます。なお、熱(37.5度以上)のある方には参加をご遠慮いただく可能性がありますので、ご了承ください。

主催：公益社団法人 日本技術士会 東北本部 宮城県支部 環境委員会

申込締め切り：2020年10月12日（月）

申込方法：参加を希望される方は、下記申込書により下記申込先に

FAXまたは、メールにてお申し込み下さい。

申込先：公益社団法人 日本技術士会 東北本部 事務局

TEL：022-723-3755 FAX：022-723-3812

E-mail：tohokugijutushi@nifty.com

以上

第16回環境対応セミナー参加申込書
持続可能な未来のために

氏名：

住所：

連絡先：

学校名・会社名：

※申込の際に記入して頂いた個人情報は、当セミナーの各種連絡の目的に利用いたしません。